

(草の根交流の実例)

福岡県田川市立後藤寺小学校の挑戦

～韓国 吐月初等小学校との国際交流教育～

財団法人自治体国際化協会 交流親善課

本年5月号の特集号に引き続き、今月も民主導の草の根交流の事例を取り上げます。

学校交流の多くは、行政の指導・支援の下で運営されています。今回、ご紹介させていただく福岡県田川市立後藤寺小学校による「吐月初等小学校との国際交流教育」事業は、行政からの財政支援を受けず、学校のPTAが財源を確保し、学校と協力し継続的に交流を実施している独自の事例となっています。

なおこの事例は、高円宮記念日韓交流基金による顕彰を昨年度に受賞しました。

後藤寺小学校の指針

田川市立後藤寺小学校（福岡県田川市・全校生徒268名（2011年5月現在））は教育目標として「自ら学ぶ意欲を持ち、心豊かにたくましく生きる力を身につけた心身共に健全な児童の育成」を掲げ、経営の基本方針にも「韓国吐月初等小学校（韓国慶尚南道昌原市・全校生徒約2,500名）との国際交流教育や地域の教育資源を活用した体験的活動を導入して、特色ある教育課程を編成して、子どもが主体的に活動する活気あふれる学校の樹立に努める」としています。

その方針に沿って、1997年から吐月初等小学校との教育・文化交流を13年間継続してきました。共同授業による異文化交流と、歌・ダンス・工作等の作品交換や体験学習を通じ、友好活動を行っています。姉妹校提携を結ぶことにより、長期にわたる取り組みの中で、児童生徒はもちろんのこと教職員・保護者をも含めた幅広い交流が実践され、地域全体での国際理解を高めています。

PTAの提言から交流を開始

1991年（平成3年）PTAから「田川に住む子ども

たちが国際人としての感覚を身につけ、広い視野に立って判断し、行動できるような子どもに育ててほしい」との提言が出され、歴代校長・PTA会長のご尽力や福岡県日韓親善協会の協力により、1995年に吐月初等小学校との交流が始まりました。1997年6月に後藤寺小学校にて「姉妹校調印式」を行ってから、本年度で13年目を迎えますが、その間、4年を1サイクルとして毎年、児童の絵画や作品、書道などを交流すると共に、2年毎に交互に学校訪問をし、両校の友好・親善を深めています。今年は、日本から韓国への訪問年にあたり、両校では交流の絆を深めるべく準備を進めております。

交流の実態

韓国訪問の参加者は、6年生を中心に募集した児童25名と、校長・教職員・PTA関係者10名からなる随行員で構成されています。出発の2～3カ月前から参加児童は歓迎式典でのスピーチや韓国での生活について理解するために韓国語や韓国の歴史文化を学びます。出発直前には、全校生徒による壮行会を行い、参加者が学校を代表するという意識を持って臨むことを明確にし、参加者全員が課題を持ち、帰国後には参加者による報告会を行い、全校生徒でその成果を共有します。

一方、訪日団受入の際には、年度初めから実行委員会を立ち上げ、式典部会・交流部会・ホーム



吐月初等小学校訪問団 歓迎式

ステイ部会に分かれて準備を行います。式典部会は学校が主となり歓迎集会や交流授業の準備を行います。交流部会は歴代校長・PTA会長が主となり同行

者向けの歓迎行事や宿泊の世話をを行います。ホームステイ部会は現職のPTAが主となり準備を行います（主に4年生～6年生からのホストファミリーを募集します）。また、単なる交流事業プログラムだけではなく、3年生からは合同の英語体験授業による、成果プログラムも行っていきます。

運営経費を確保するために

一番の問題点は財政です。後藤寺小学校では運営にあたり地元自治体など行政からの支援を受けておらず、地元企業等からの寄付はあるものの、ほとんどの経費をPTA会費から捻出しています。その為、毎年的人的交流では財政を逼迫してしまう為、吐月初等学校と協議を重ねた結果、限られた予算での永続的な交流を実践する為に、訪問頻度を4年1サイクル（2年おきに交互に訪問）に工夫することで財源の一定の確保を可能にしました。また、更なる財源確保の為に、PTAが当該交流の為に基金を立ち上げ、バザーを開き、その収入を積み立てるなど、学校側・PTA側が一致団結して取り組んでいます。

将来の交流に向けて

吐月初等学校との交流は、回を重ねる毎に交流

が深まっています。これまで日本から韓国への訪問は3回を数え、この間、韓国を訪問した児童は31名、教職員・PTAを含めた総数は85名となっています。韓国



交換作品（吐月初等小学校生徒から）

からの訪問は4回実施されており、日本を訪問した児童は75名、教職員・PTAを含めた総数は108名となっています。この13年間の両校の国際交流で、お互いの国の伝統や文化を直接体験することにより、教職員・児童・PTAが言葉の壁を乗り越えて、交流が深まっていることは大きな成果であると考えます。また、交流の回を重ねるごとに、お互いの国の良いところを学び合いながら、交流をよりよい方向に改善してきました。特に2001年には、吐月初等学校の5年生から教科書問題に関する意見文が届きました。後藤寺小学校では、すぐに全校で学習し、6年生が教科書問題で学んだことを吐月初等学校に送り、全校で教科書問題について学習したことが伝わり、両校の信頼がさらに深まりました。

今後も、学校とPTAが一体となって、両校の交流が継続・発展していくことを願っています。

参加児童・家族からの感想

① 参加児童の感想文（6年生女子）

「私は韓国へ行って、家に帰って子どもたちがなにをしているのか調べてきました。理由は、吐月初等学校のことをくわしく知りたかったからと、姉妹校の子どもたちともっと仲良くなるために、どんなふうにかで生活しているか知りたかったからです。（中略）たった3日間だったけど、すごい体験をしたと思いました。不安だったけど、韓国人達はすごく優しく親切にしてくれました。日本に帰る時、すごく悲しかったです。次に吐月初等学校の子供たちが後藤寺小学校に来る時に私はいませんが、後藤寺小学校のみんなで心に残るいい思い出をたくさんつくってください。」

② 参加児童の家族からの感想

- ・不安もいっぱいあったかと思いますが、出発前から韓国の勉強をし、いろいろ経験出来たのは良かったと思います。忘れられない貴重な体験になったと思います。
- ・ホストファミリーから滞在中の写真もいただき、写真の中の子どもは笑顔がたくさんあり、楽しかったのがうかがえます。

添付資料

過去の吐月初等小学校訪問団スケジュール

日	時間	内容
1	11:40	博多港到着 田川市表敬訪問 田川市歴史博物館見学 後藤寺小学校到着 - 歓迎式典 - ホストファミリーとの対面式 ホストファミリー宅 (ホストファミリー宅 泊)
	14:00	
	14:30	
	16:00	
	17:30	
2	09:00	後藤寺小学校集合 - 歓迎集会 - 授業参観 給食 PTA主催ドッチボール大会 ホストファミリー宅 ホストが集まってホームパーティー (ホストファミリー宅 泊)
	12:30	
	14:00	
	17:00	
	18:00	
	18:00	
3	09:00	後藤寺小学校集合 - お別れ会 小学校発 福岡市内観光 博多港 韓国へ向け帰国
	09:30	
	11:00	
	13:30	
	13:30	
	14:15	